

## 24年度予算議会ハイライト 日本共産党 かし昭二県議

この2月議会での、日本共産党香川県議員団の主な活動を報告します。

県民のくらし・福祉・教育を守る先頭で奮闘

●県費で雇う教職員の定数が増えました

条例改正により、県立学校職員の定数を9名、市町立学校県費負担教職員の定数が25名増員されます。教員の長時間労働をなくすための第一歩であり、世論と運動の成果です。また、高校生の自転車通学生のヘルメット購入助成(上限5千円)も実現します。

●兼業農家を支援する条例は全国初の快挙！

『多様な農業人材サポート事業』として、地域農業を担う多様な農業人材の経



営計画を認定し、計画の達成に必要な機械・施設の導入を支援します。さらに農業技術の実践的な研修を行います。県は、来年度からの5年間で、250人程度の兼業農家などの認定をめざします。

かし県議は「長年の要求がついに実現しましたが、予算規模はまだまだ少額です。さらに充実させて農地を守りたい」と語ります。

●根拠も示せない大型開発優先はやめよと主張

池田豊人知事は『人生100年時代のフロンティア県』の計画の一つである「にぎわい100計画」として、サンポート高松港に11万トン級の大型客船が入港できる港づくりや、JR高松駅と高松空港を結ぶ「高規格道路・高松環状線」などの大型開発をすすめるようとしています。これには県民の合意がないうえに、「費用対効果や予算規模を示せ」というかし議員の再三の要求にもこたえないまま、計画を推し進めようと

### 民間への業務委託

現在、企業団の仕事は、すべて企業団職員がするのではなく、一部を民間に委託しています。

年間概算金額は、営業費用200億円の内、委託料39億円、人件費32億、減価償却費(機械・設備等の年割額)89億で、この3科目で全体の82%です。

(委託料は全額が人件費という訳ではないので、単純な比較はできませんが)委託の中で、特に注視するのは、浄水場の運転・検針、管理、検針、料金収納です。浄水場と検針合わせて18

## 香川の水道の話④ いのちの水を守る会 香川 世話人 堀井ゆずる

議は、仁比そうへい参院事務所がおこなった政府関係者の証言を示しながら、「平時」という名での軍事利用だと批判し、抗議集会や申し入れの先頭に立ちました。また、県議会では、

●高松港の軍事利用は許せない

また、国にいいなりに、高松港の軍事利用が進められようとしています。極端

億、委託料全体の45%です。

主な浄水場55カ所のうち、民間委託は43カ所、直営は12カ所、浄水量で言うと7割以上が民間委託です。委託先は、水ing(スイング)・フソウ・東芝・石垣の共同企業体で、いずれも浄水場の運転・維持管理を全国展開しています。

検針、料金収納の委託先は、ヴェオリア・ジェネッツ、第一環境、三豊市水道工事組合、フジ地中情報(株)です。ヴェオリア・ジェネッツは、フランスの水道企業で世界をまたに事業展開しているヴェオリアの日本でのグループ会社です。

浄水場民間委託推進の危険性

浄水場の運転・維持管理は、水道事業の中でも重要



部分で、ここを民間に押さえられては、将来、企業団の経営を左右されかねません。業務の内容容把握に疎くなり、委託料の的確な算定能力を失っては先方の言いなり金額になってしまう。また、企業団内の技術継承をますます困難にします。

政府は、水道事業に民間の知恵と資金を活用すると言いつて民間参入を推進し、最近はその前段階として管理・(設備)更新一体方式を推奨しています。現在の企業団委託先企業は、運転・維持管理の他に水道施設の建設も行なっていて、設備更新も一体的に行なうことは容易です。

委託はこれ以上拡大しないよう声を上げて行きたいと思っています。

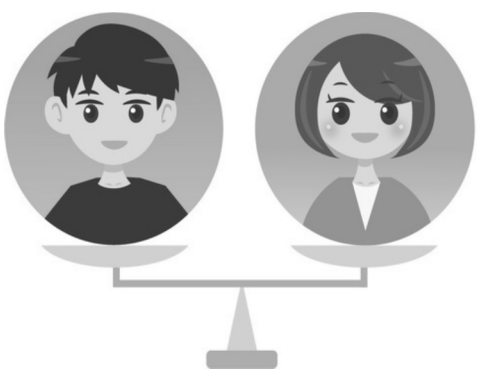
この根拠とされる安保3文書はアメリカの戦争に日本が参加するものだと言質を突いた論陣を張りました。

県民のくらし優先、郷土香川を戦場にさせないため頑張ります。

## ジェンダー平等について 考える学習会を開催

日本共産党香川県委員会と民青同盟香川県委員会、3月24日、科学の目講座「ジェンダー平等について考えよう」を開催しました。講師の石田真優県書記長から、「ジェンダーとは

何か」という基本的な話から、日本のジェンダーギャップ指数が先進国の中でも極めて低い125位という実態も示し、どんな問題があるのか具体的な事例を紹介しました。



さで花芽が生成し、そのピークを迎えると開花する。なんとすごい自然の摂理ではありませんか。

各地から桜の開花の便り。昨日まで硬かった蕾が、一気に咲き誇るまでに。今年は暖冬だったから開花も早いのだらうと勝手に思い込んでいましたが、暖かさだけでは桜は開花しないことを知りました。

「休眠打破」というそうですが、桜の花芽は前年の夏に形成さ



れ、休眠状態になり、冬の寒さにさらされることで眠りから覚め、開花の準備を始めるそうです。春の暖か

## 勇気りんりんエッセイ 白川よう子

四国ブロック国政対策委員長

白川よう子

政府は7道県16施設を「特定利用空港・港湾」に指定すると発表。それに先駆けて香川県・高知県知事も国に受け入れを表明しました。山添拓参議院議員も参院外交防衛委員会で、安保3文書に基づき自衛隊による全国

全国的には全ての自治体や管理組合から理解が得られず、一部で今回の指定を見送ったとのこと。香川や高知でも撤回させるまで決して諦めません。私たちはこれだけ酷い政治の北風にさらされ続けてきました。寒さに縮こまらず、休眠打破で政治の春を一気に。

参加者からは、「職場でのLGBTQ当事者の方への配慮はどうしたらいいか」「女性が結婚で姓を変えることの大変さがわかった。選択的夫婦別姓制度の導入をしてほしい」、「将来に希望が持てるような社会の

ためには、男女賃金格差をなくすことが重要な課題」など活発な意見が出されました。

学習会終了後は、参加者たちで鍋を作って食べながら交流しました。

## 《地球の息吹④》瀬戸内 大地 スロースリップ

スロースリップ(ゆっくりすべり)とは、ゆっくりと断層が動いて地震波を放射せずにひずみエネルギーを解放する特異な現象をいう。プレート境界の断層では、スロースリップと高速なすべり(通常の地震)の両方が発生していて、お互いに影響を及ぼしあっていると考えられている。この現象は、およそ数日間かけて発生する短期的なものとは数か月から数年かけてプレート境界がゆっくりする長期的な現象に分けられる。

スロースリップは、南海トラフ地震などの巨大地震との関連性が指摘されており、巨大地震の震源域に与える影響等、巨大地震の発生メカニズム解明のための研究対象として注目されている。

